

平成30年度 第1回学校運営協議会議事録概要

日時 平成30年6月29日(水) 15:30~17:30

場所 大阪府立堺工科高等学校 図書室

1. 開会のあいさつ(校長)

2. 自己紹介(委員、事務局)

3. 会長・副会長選出

会長に大阪府立大学 金野 泰幸 委員
副会長に大阪工業大学 皆川 健多郎 委員 が選出される。

4. 委嘱状伝達

5. 学校経営計画等について

(1) 中期的目標について

前提として府立工科9校の内5校で募集定員が定員を割る状況がある。本校は3年前に一度定員を割っているが、その後は定員を割らずにきている。生徒の状況は、落ち着いた生徒が多くなっている反面、学力面には課題が残る。また、卒業後の進路は8割が就職している。入社後の離職率が3割程度あり府内工科高校では高い状況となっており離職率を下げるための課題意識がある。そのような状況の中、中期的目標として 1.人間力の育成、2.工業教育の充実、3.教員の資質向上、4.地域との連携についての今年度の重点目標について説明。

(2) 本年度の取組内容について

本年度の各項目の重点目標について説明後、各委員よりご意見を頂いた。

- 人間力の育成について、数年前は年間の遅刻者数2万件あったが、昨年は1千5百件に減少して来た。
1千件以下へ減少させるには、指導する教員と生徒ともに粘りが大切と思う。また、学力の定着について生徒個人が自分の学習成果が見える形にするための工夫が大切である。成果が見えることで、やる気が出て学力向上につながる。
- 教員の資質向上について、教員の不祥事が続く中で教員研修を実施するが、研修することで時間が取られて余計に負担とならかが心配である。教員に寄り添える教員を確保し、仕事の整理・選別することで健全な職場環境を確保することが大切ではないか。
- 工業教育の充実について、ホームページを利用して工科高校の魅力を発信することは重要だがホームページのターゲットをどこに置くかを考え、コンテンツを検討することが大切である。
- 地域との連携について、先日の地震などによる災害の発生時の対応策なども今後、検討する必要がある。生徒が授業中に災害が発生し、交通機関の停止などによる帰宅困難者への対応について具体的に何が必要かなどを検討する。また、地域の防犯対策として防犯カメラの設置もお願いしたい。防犯カメラの設置を堺市にもお願いしているが、予算の関係上設置が遅れている。堺工科の学校周囲にも防犯上問題とされる箇所へ設置を検討してほしい。

(3) 教科書採択について

- 教科書採択にあたり現在の進捗状況について説明。普通教科では、写真やイラストで見易く理解し易いものを中心に採択している。専門教科については、基本から応用までの内容が効率よく学べる内容のものを中心に教科書を採択している。

6. 閉会のあいさつ(校長)

7. 事務連絡